通巻第63号
平成30年3月

佐倉市V連協だより

【発　行】
佐倉市ボランティア連絡協議会
【連絡先】
佐倉市ボランティアセンター内
℡:043－484－6198
http://www.sakuravren.com/
E-mail　info@sakuravren.com

一年を振り返って

ボランティア連絡協議会
会長　稲村多恵子

平成29年度事業に多くの方々にご協力いただき深く感謝申し上げます。

一年を振り返ってみますと、今年度の研修「エニアグラム入門」、災害対応ゲーム「クロスロード」は、お互いの意見交換をすることで、自分を知り、相手の良さも知る。また、それぞれの視点や価値観の違いを認め合うことを学びました。今後の活動に活かされていくことと思います。

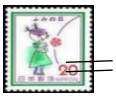
「ボランティアのつどい」は実行委員の皆さまが会議を重ね、お互いの活動を知り合える出会いと交流、情報交換の会となりました。参加された方から「思いやりの感じられる会でした」と嬉しい感想をいただきました。

そして、広報紙「はらっぱ」は、夏の暑い日での取材、編集会議を重ねて編集委員の皆さまにより２月７日に発行いたしました。V連の活動は、こんなにもたくさんの方々に支えられていることを再確認し、たくさんの出会い、たくさんの笑顔！をいただきました。

ほんとうに感謝でいっぱいです。皆さまからいただいたご意見、ご感想を生かし、会員のためのV連となりますよう取り組んでまいります。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

第１回運営委員会（総会）のお知らせ

日　時：平成 30 年4月22日（日）
午後1:30～3:30
場　所：西部地域福祉センター
内　容：①平成29年度活動報告
決算及び会計監査報告
②平成30年度活動計画及び予算案
研修会：災害対応ゲーム「クロスロード」　Part2
～みんなで話しあいましょう～



使用済切手収集の会

毎月第３月曜日 10 時より 11 時半に、約 15 名の会員が集まり、使用済み切手を整理しています。

現在(2 月末)使用済み切手を業者の方などに買っていただき 8,000 円です。

売上金は、一定額集まりましたらボランティア活動等に活用します。
ご協力ありがとうございました。

※使用済みインクカートリッジも集めています！

第９回 障害者作品展 ふれあいギャラリー 報告

第9回障害者作品展『ふれあいギャラリー』が、昨年 12 月 22～24 日に佐倉市立美術館で開催されました。福祉施設、支援学級、個人、年齢を問わず障害のある方の作品を展示しています。

来場者数は3日間で762人。絵画、造形、手芸などの作品を中心に書、詩など多彩な231点の出展がありました。

多くのボランティアさんの協力でここまで来ることが出来ました。是非『ふれあいギャラリー』をご覧になってください。

住吉アキ子

個人ボランティアのつどい　エニアグラム入門 報告

日　時:平成 29 年 10 月 22 日(日) 午後 1:30~5:00
会　場:千代田染井野ふれあいセンター
講　師：日本エニアグラム学会ファシリテーター専任講師　富澤優江さん

何気ない行動や考え方のタイプの源を探ることがエニアグラムです。

集まった人たちが簡単な質問で 9 つのタイプに分かれ、同じタイプのグループの人たちと「テーマ」ごとに話し合うと、通じ合う心地よさを感じました。

それぞれ大切にしている価値観の優先順位が違うことがわかり、自分を知ることで、お互いのよさを認めあうことができました。

ボランティア・市民活動フェスタ 2017in 佐倉 報告

日　時:平成 29 年 11 月 26 日(日)
会　場:中央公民館＆北側駐車場

『ユニバーサルワールド』というキャッチフレーズで、車いす体験・高齢者疑似体験・ユニバーサルデザインの紹介をV連役員の他、根郷地区社協の皆様のご協力で運営。佐倉市障がい者団体等連絡会（テーマ：障がい者差別解消法・差別をなくしましょう）と一緒に、バルーンアートボランティアの方の応援もいただき、楽しい雰囲気の中、約 240 名とたくさんの方が参加してくださいました。

車椅子体験の８割が小学生で、「疲れた」「坂が大変だった」というコメントが多かったなか、「くだりのスピードが出すぎてしまった」「まわりの人たちの協力が必要なこともわかった」といった気づきもありました。
また参加者から、「お年寄のもどかしいくらいにゆっくりした動作には『見えにくい』『指が思うように動かない』からだと体感できました。」など感想をいただきました。

第２回 運営委員会 報告　第１部

日　時:12 月 10 日(日) 午後 1:30~3:30
会　場:西部地域福祉センター　（出席者：30名）

＊平成29年度4月～12月活動報告
＊「ボランティア・市民活動フェスタ2017in 佐倉」の報告
＊「第36回 ボランティアのつどい」お知らせ
＊「はらっぱ」第 44 号の編集状況(平成30年2月7日発行)
＊その他
　質問:使用済みインクカートリッジ約7kgを下志津小学校へ届けた件について、配る学校を決めているのか？
　回答:ベルマークと一緒の対応をするので、市内の学校を順番に回ります。

クロスロードとは、阪神・淡路大震災で、災害対応に当たった神戸市職員へのインタビューをもとに開発・作成された、カードゲームです。さまざまな「ジレンマ」を感じつつ『YES・NO』を選び、お互いにその答えを選んだ理由を聞くことで、多くの視点や価値観に出会うことができます。

第２部 研修会 災害対応カードゲーム「クロスロード」

＜参加者の感想＞
- まだ被災していないからゲーム感覚で参加。被災時にどう行動するか？　色々な場面、状況…その時の判断…参考になりました。
- 自分の考えの整理にもなったし、みんなの話を聞いて、何を優先するかとか、なるほど、そう得るのかと大変参考になりました。
- 防災に対する意識づけが強まった。考え方の多様性、多数決では無理なことがよくわかった。
- 問題が提示されても、置かれた立場、年齢によっても異なるが、要は自分がいかに人の迷惑をかけずに行動できるかということを実感しました。

訃報
V連役員の瀬尾潔さんが昨年10月31日お亡なりになりました。会議の資料、ホームページの更新など事務処理を引き受けてくださいました。今までのご尽力に感謝すると共に、ご冥福をお祈りいたします。

講演会　『人生の第二ステージを輝かせよう』～要支援 一歩手前の支えあい～

個人ボランティア
犬塚明子さん
（副実行委員長）

仕事を辞めた時、地域で挨拶しあう人を見て、自分には知り合いがいないことを痛感。気軽に話せる仲間作りでボランティア活動を始める。誰かと一緒にいられる居場所を求め、何ができるか考えたい。

志津地区社会福祉協議会
志津ふれ愛センター長
安田章夫さん

100円喫茶を月1回、7カ所で運営。会場ごとに独自色を出す。利用者の声にこたえ、常設サロンを設置。6 年間の実績をもとに、運営のノウハウ、傾向や対策について説明。「しづっ子クラブ」で学習支援。

アパコミごましお会
副会長　登坂研治さん

毎朝ラジオ体操を実施。マンション北側道路植樹帯花壇の整備と管理。学童登下校の安全誘導。支援活動など、自分たちにできることは実行。継続することで「信頼」や「親しみ」が生まれ、コミュニティの場ができた。

志津南地区社会福祉協議会
会長　近　友三郎さん

自治会が今年50周年を迎え、地区の高齢化（75歳以上20.1%　65歳以上38.2%）が深刻な問題。高齢者への支えあいの必要性が高まる中、サポーター不足が悩み。愛あいサービスについて説明。

心 も 体 も リフレッシュ

第36回ボランティアのつどい ～笑顔で会いましょう～

実行委員長
稲田ひとみさん

昼食づくり協力：川野さん、黒田さん、内島さん、清水さん

三色丼と豚汁
美味しかった～！

みんなで体をほぐしましょう！

第２部　体験タ～イム

「茶道体験」

日本文化の茶道、華道を高齢者施設や福祉施設で体験してもらう活動

普段は少数単位で活動していますが、5周年記念事業では全員が力を合わせ参加できるものにしたいと思い「茶道体験」を企画しました。（稲田）

笑い声や話し声が絶えることがなく、体験してくださった方々が、よい時間を作り出してくださっているんだなと感じました。（長谷）

「風船ぷよぷよ」

笑　顔　満　開

平成 30 年 2 月 11 日（日・祝）志津コミュニティセンター

オープニングで演奏する　和楽奏衆「鼓珀」

「太鼓体験」

皆さん上着が要らない程、熱くなっていましたね！（鼓珀）

「自力整体＆笑いヨガ」

「笑いは伝染する」の言葉通りに、他の体験をしている方々が2回目3回目と集まってくださり、大笑いしたり、自力整体を簡単に伝えるエクササイズの基本を真剣に取り組んでいる姿に、うれしい思いでした。（秋田）

参加者102名、「地域色が出ていて、活動が身近に感じた」「オープニングの太鼓が最高！」「三色丼が美味しかった！」「ニコニコ笑顔にあふれていて、楽しかった」など、たくさんの感想をいただきました。

実行委員のみなさんが知恵を絞り、志津地区、志津南地区社協のご協力をいただき、無事に終わることができましたことを心より感謝いたします。
そして、たくさんの笑顔に出会うことができました。ありがとうございます。